













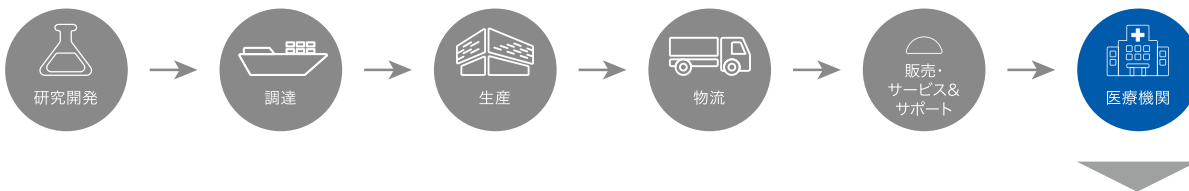
実績データ








環境データ

マテリアルバランス※

INPUT			
	2020年度	2021年度	2022年度
 電気使用量 (千 kWh)	48,158	49,055	53,877
 都市ガス (千 m ³)	1,212	1,238	1,542
 LPG (t)	16	19	17
 LNG (t)	0	0	0
 重油 (kL)	0	0	0
 灯油 (kL)	1	1	1
 軽油 (kL)	13	0	19
 社用車ガソリン (kL)	518	502	3,116
 社用車軽油 (kL)	10	8	809
 水使用量 (千 m ³)	452	487	501
 OA用紙 (t)	30	28	34
 PRTR (t)	0	0	0

シスメックスの事業活動



OUTPUT			
	2020年度	2021年度	2022年度
 温室効果ガス排出量 (スコープ1) (t-CO ₂)	4,034	4,023	12,888
 温室効果ガス排出量 (スコープ2) (t-CO ₂)	15,476	15,901	15,017
 温室効果ガス排出量 (スコープ3) (t-CO ₂)	—	412,714	437,714
 廃棄物など総排出量 (t)	2,529	2,796	3,646
 リサイクル率 (%)	78	79	80
 水排出量 (千 m ³)	270	273	303
 PRTR (t)	0	0	0

※ 2022年度より対象範囲が拡大

実績データ

環境パフォーマンスデータ

項目	内容		単位	2016年度	2017年度	2018年度	
INPUT	エネルギー消費量	非再生可能エネルギー消費量	電力（非再生可能）	千 kWh	37,193	38,399	40,670
			都市ガス	千 m ³	1,474	600	1,097
			LPG	t	21	24	19
			LNG	t	0	0	57
			重油	k L	0	35	0
			灯油	k L	31	29	29
			軽油	k L	21	17	38
	再生可能エネルギー消費量	電力（再生可能）	千 kWh	210	1,302	1,288	
	その他非再生可能エネルギー消費量	ガソリン（社用車）	k L	734	689	619	
		軽油（社用車）		25	23	18	
総消費量		GJ	467,211	443,548	488,089		
水使用量	地下水	千 m ³	58	53	65		
	水道		348	365	384		
	総使用量		406	418	449		
OA用紙使用量		t	42	45	38		
PRTRインプット		t	0	0	0		
OUTPUT	温室効果ガス排出量 GHG スコープ1 ^{*3}	固定排出源からのエネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	3,559	1,749	2,964	
		社用車からのCO ₂ 排出量		1,768	1,661	1,483	
		総排出量		5,327	3,410	4,447	
	温室効果ガス排出量 GHG スコープ2 ^{*3}	総排出量	t-CO ₂	19,201	20,438	19,385	
GHG スコープ1+2	総排出量	t-CO ₂	24,528	23,848	23,832		
温室効果ガス排出量 GHG スコープ3 ^{*3}	輸送、配送（上流）からのCO ₂ 排出量	t-CO ₂	19,573	16,711	21,571		
廃棄物の排出量	総排出量	t	2,106	1,482	2,255		
	総排出量（国内営業拠点含まない）		1,436	1,361	2,117		
	マテリアルリサイクル廃棄物		814	1,044	1,264		
	リサイクル（エネルギー回収を含む）廃棄物		1,309	1,213	1,617		
	総廃棄物処分量		128	148	500		
	マテリアルリサイクル率		%	57	77	60	
	リサイクル率（エネルギー回収を含む）			91	89	76	
水排出量	総排出量	千 m ³	189	273	292		
PRTRアウトプット	排出量	t	0	0	0		
	移動量		0	0	0		

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 カバー率 ^{*2}	対象範囲 ^{*1}	算定方法など		
44,551	42,287	42,970	45,188	95%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、国内営業拠点、国内その他事業所、海外主要拠点、海外生産工場、海外その他事業所			
1,108	1,212	1,238	1,542					
19	16	19	17					
0	0	0	0					
0	0	0	0					
24	1	1	1					
24	13	0	19					
6,704	5,871	6,085	8,688					
604	518	502	3,116					
10	10	8	809					
542,184	516,936	524,686	688,589				総消費量=Σ（エネルギー種別消費量×換算係数 ^{*4} ）	
75	86	96	90			72%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、海外主要拠点、海外生産工場、海外その他事業所	自家用地下水使用量
437	366	391	410					
512	452	487	501					
36	30	28	34	30%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場			
0	0	0	0	37%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、国内営業拠点、国内その他事業所	化学薬品を扱う国内事業所におけるPRTR取扱量		
2,665	2,807	2,836	3,560	95%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、国内営業拠点、国内その他事業所、海外主要拠点、海外生産工場、海外その他事業所	排出量=Σ（燃料使用量×CO ₂ 排出係数 ^{*4} ）		
1,428	1,227	1,187	9,328			排出量=Σ（購入電力量×CO ₂ 排出係数 ^{*5} ） +Σ（購入蒸気量×CO ₂ 排出係数 ^{*4} ）		
4,093	4,034	4,023	12,888					
21,710	15,476	15,901	15,017					
25,803	19,510	19,924	27,905					
18,547	16,691	26,033	21,698	—	シスメックス株式会社	排出量=Σ（輸送重量×輸送距離×CO ₂ 排出原単位 ^{*6} ） 日本向け：国内物流倉庫から国内顧客など（支店・営業所を含む）までの物流CO ₂ 排出量 海外向け：国内物流倉庫から海外各地域の港・空港までの物流CO ₂ 排出量 ※本社パーツセンターからの国内輸送分（港および空港まで）を除く		
2,722	2,529	2,796	3,646	79%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、国内営業拠点、国内その他事業所、海外主要拠点、海外生産工場、海外その他事業所	廃棄物排出量=一般廃棄物排出量+産業廃棄物排出量		
2,591	2,411	2,689	3,537					
1,560	1,711	1,929	2,445			廃棄物のうち、第三者による処理の結果、有価物になったものの量 燃料化（RPFなど）したものの量		
1,744	1,884	2,130	2,838			廃棄物のうち、再使用、マテリアルリサイクル、熱回収（サーマルリサイクル）したものの量		
847	527	559	699			総廃棄物処分量=総排出量-リサイクル（エネルギー回収を含む）廃棄物		
60	71	72	69					
67	78	79	80					
287	270	273	303	72%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、海外主要拠点、海外生産工場、海外その他事業所			
0	0	0	0	37%	国内主要事業所、国内機器工場、国内試薬工場、国内営業拠点、国内その他事業所	化学薬品を扱う国内事業所におけるPRTR排出量		
0	0	0	0			化学薬品を扱う国内事業所におけるPRTR移動量		

項目	内容	単位	2016年度	2017年度	2018年度
コンプライアンス	環境法規制（大気汚染 水質汚濁など）の違反	高額罰金の総額	億円	0	0
		罰金以外の制裁措置総件数	件	0	0
	重大な化学物質の 漏出・紛失	総件数	件	0	0
		総漏出量	t	0	0

※1 各年度のデータは当該年度の対象範囲による実績を示す。なお、2022年度より対象範囲を拡大しており、2022年度対象の詳細は下記のとおり
 国内主要事業所：シスメックス株式会社（本社・テクノパーク・ソリューションセンター）
 国内機器工場：シスメックス株式会社（加古川工場・アイスクエア）、シスメックスメディカ、シスメックスRA
 国内試薬工場：シスメックス株式会社（小野工場・西神工場）
 国内営業拠点：シスメックス株式会社（東京支社・他20拠点）
 国内その他事業所：シスメックス株式会社（研究開発センター・他6拠点）
 海外主要拠点：シスメックスヨーロッパ、シスメックスドイツ、シスメックスアメリカ、シスメックス上海、シスメックスアジア・パシフィック
 海外生産工場：シスメックスヨーロッパ、シスメックスブラジル、シスメックスリージェンツ・アメリカ、シスメックスインドネシア、
 シスメックスアジア・パシフィック、済南シスメックス、シスメックス無錫、シスメックスパルテック、シスメックスアイノスティクス、
 ハイフェンバイオメド、オックスフォードジーンテクノロジー、シスメックスプロダクションルース
 海外その他事業所：シスメックスUK 他29拠点

※2 カバー率は、人員数を基に算出

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 カバー率 ^{※2}	対象範囲	算定方法など
0		0	0	100%	国内主要事業所、国内機器工場、 国内試薬工場、国内営業拠点、 国内その他事業所、海外主要拠点、 海外生産工場、海外その他事業所	
0		0	0			
0		0	0			
0		0	0			

※3 温室効果ガス排出量 スコープ1：企業の施設や工場、社用車から直接排出される温室効果ガス
 温室効果ガス排出量 スコープ2：エネルギーの使用にともなう、企業から間接排出される温室効果ガス
 温室効果ガス排出量 スコープ3：商品・サービスに関わる企業群（サプライチェーン）全体から排出されるスコープ1、2以外の温室効果ガス

※4 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく換算係数もしくは排出係数

※5 日本：地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電気事業者別排出係数一覧（令和5年提出用）の調整後排出係数

海外：IEA, IEA Emission factors 2022の2020年排出係数

2020年度より最新の排出係数で算定する方法に変更。過去は以下係数使用

・日本（2016-2019年度）：地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電気事業者別排出係数一覧（平成29年提出用）の調整後排出係数

・海外（2016-2017年度）：GHG Protocol 2005

・海外（2018-2019年度）：IEA, Emissions from Fuel Combustion 2018の2016年排出係数

※6 「ロジスティクス分野におけるCO₂排出量算定方法 共同ガイドライン Ver.3.1」に基づく排出原単位

温室効果ガス排出量（スコープ3）

スコープ3	2022年度 (t-CO ₂)	バウンダリ
カテゴリ1：購入した製品・サービス	143,375	自社主要機器・試薬・事務用品
カテゴリ2：資本財 [*]	103,273	グループ全体
カテゴリ3：スコープ1、2に含まれないエネルギー関連活動	6,422	グループ全体
カテゴリ4：輸送、配送（上流）	21,698	国内輸送、日本→海外輸送
カテゴリ5：事業から出る廃棄物	4,456	グループ全体
カテゴリ6：出張	1,368	グループ全体
カテゴリ7：雇用者の通勤	2,352	グループ全体
カテゴリ11：販売した製品の使用	140,724	自社主要機器
カテゴリ12：販売した製品の廃棄	14,046	自社主要機器・試薬・容器
スコープ3計	437,714	—

※固定資産（有形＋無形）取得金額×CO₂排出原単位（「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.3）[6] 資本財の価格当たり排出原単位＜事務局＞」に基づく排出原単位）